



ふくだ Fukuda

滑川町立福田小学校 学校だより

2月号

令和 6年1月29日

電話 0493-56-2651 FAX 0493-56-2643

校長 上野 修

よい結果は、よい準備から ～段取り八分～

1月23日(火)箏(お琴)の学習がありました。今年も指導者として菅野充子先生をお招きしました。当日は、9時25分に始まる2校時からご指導いただくため、8時30分にご来校いただく予定でしたが、菅野先生は、何と8時前にはご来校なさいました。「お茶でも…」と申し上げましたが、「準備がありますので…」と直ちに会場の多目的室に向かわれました。菅野先生は、何面ものお琴を一面一面丁寧に調律されていました。菅野先生の丁寧かつ素早いご準備の様子から「段取り八分、仕事二分」ということばを思い浮かべました。今回は、菅野先生をヒントに「段取り」ということについて考えてみます。



大工や板前など職人の仕事を見てみると「ムリ・ムダ・ムラのない、流れる様な仕事である。安全にしかも、能率的に仕事している。材料も適切に使い、場所も工夫している。何よりも早く作業できている」といったことに気づきます。職人の流れる様な仕事は、「段取り」が生み出しているのです。「段取り」を辞書で調べると「事を運ぶための順序。事がうまく運ぶように、前もって手順をととのえること。手はず」とあります。「仕事は段取りで決まる。良い段取りを考えて仕事をすると上手くいく」ということになります。

宮大工(神社仏閣の建築や補修に携わる大工)の教えに「道具は得心がいくまで研げ」ということばがあるそうです。西岡常一さんは「仕事を成り立たせるのが道具ですわ。道具なしには腕のよしあしはないんです。だから職人は道具を大事にするんです。自分や家族に飯を食わせるのと同じ時に、自分がどんな人間かを映し出すのが道具です。道具を見たら腕がわかるかって聞かれますけど、そりゃ、わかりませ。一番大事なものをどう扱っているかを見れば、その人の仕事に対する心構えが見えますな」(「木のいのち木のこころ(天)」1993、草思社)と語っています。また、一流の料理人は、鍋をピカピカに磨き、包丁の手入れを怠りません。ある板前さんは「お店が終わったあと毎晩遅くまで包丁を研ぎます。心を込めて包丁を研ぐことで心が落ち着きます」と語っています。このことから「段取りは、姿勢・心構えだ」ということがわかります。

アメリカ合衆国第16代大統領、エイブラハム・リンカーン(1809-1865)は、「もし8時間、木を切る時間を与えられたら、そのうち6時間を私は斧を研ぐのに使うだろう」ということばを遺しています。切れ味の悪い斧を使っているのは、体力と時間を費やすばかりで一向に作業は捗りません。パンクした自転車のペダルを漕いでいるようなものです。リンカーンは「アメリカ史上最高の大統領」といわれるように非常に大きな功績を残した政治家でしたから、このことばは比喩だということが分かります。「大事を成し遂げるには、周到な準備が必要だ」ということでしょう。作業の順序や日程などを考えてつくる工程表とか計画している物事の日程や道のり流れなどを考えてつくる行程表というものがありますが、全体を見通して設計図をつくることも大切です。このことから「段取りは時間の有効な使い方だ」ということがわかります。

「よい結果は、よい準備から」私の大切にしている言葉です。

児童・保護者の活動、地域の皆様の活動



始業式



青少年健全育成会挨拶運動



ゲストティーチャー 菅野先生 お琴の授業



避難訓練 消火体験



避難訓練 起震車体験



給食感謝の会（健康委員会）



なめがわ郷土かるた大会



2月・3月の主な行事予定 ※変更が生じる場合があります

2月 8日(木) PTA総務会
 9日(金) 学校運営協議会 学校評価懇話会
 10日(土) 10代からのメッセージ
 11日(祝) 建国記念の日
 12日(月) 振替休日
 13日(火) 授業参観、学級懇談会(1・4年)
 14日(水) 授業参観、学級懇談会(なかよし あすなろ)
 15日(木) 学校保健委員会
 授業参観、学級懇談会(2・5年)
 16日(金) 授業参観、学級懇談会(3・6年)
 21日(水) ふれあい弁当
 23日(祝) 天皇誕生日
 26日(月) 通学ボランティア様感謝の会

3月 2日(土) 6年生を送る会
 4日(月) 振替休日
 13日(水) ふれあい弁当
 20日(祝) 春分の日
 21日(木) 給食最終日
 22日(木) 卒業式
 26日(火) 修了式



1月23日（火）箏（お琴）の学習がありました。今年も指導者として菅野充子先生をお招きしました。当日は、9時25分に始まる2校時からご指導いただくため、8時30分にご来校いただく予定でしたが、菅野先生は、何と8時前にはご来校なさいました。「お茶でも・・・」と申し上げましたが、「準備がありますので・・・」と直ちに会場の多目的室に向かわれました。菅野先生は、何面ものお琴を一面一面丁寧に調律されていました。菅野先生の丁寧かつ素早いご準備の様子から「段取り八分、仕事二分」ということばを思い浮かべました。今回は、菅野先生をヒントに「段取り」ということについて考えてみます。